

第1回田平町地域協議会会議録

1. 会 場 たびら活性化施設
2. 日 時 平成25年4月10日(金) 午後1時30分開会
3. 出席委員 須藤豊博 岩坪泰祐 松本一郎 宮木大人 青木 繁
久原鐵男 萩尾 章 岡 齊 永井正則 安田 豊
針尾郁子 石橋裕子
事 務 局 濱田裕孝田平支所長兼市民協働課長 綿川産業建設課長
本村教育委員会田平分室長 今村市民協働班長
松瀬市民協働係長 福井主査
企 画 課 松本協働まちづくり班長
4. 議事録署名人 萩尾 章 青木 繁
5. 傍聴人の数 2名
6. 公開・非公開の別 公開
7. 支所長挨拶
省略
8. 会長挨拶
省略
9. 審議事項
(1)平成24年度まちづくり活性化事業交付金実績評価について
(2)平成25年度まちづくり活性化事業交付事業審査について
(3)その他

会長

それでは、地域自治区の設置に関する協議書の規定に基づき、議長を務めさせていただきます。

本日の会議録署名議員を指名いたします。

萩尾委員、青木委員の両名の指名をいたします。よろしくお願いいたします。

それでは、審議事項(1)まちづくり活性化事業交付金の審査に入ります。まず平成24年度まちづくり活性化事業交付金の実績評価について事務局より説明をお願いいたします。

事務局

まちづくり活性化事業交付金の説明ですけれども、平成24年実績につきましては事務局のほうで一括して行います。平成25年度事業説明については、各申請団体が行うようになっています。

審査資料といたしましては、お送りしていた交付要綱、実施要領で、平成24年度実績

報告は、この中の9ページから12ページまで、それから平成25年度の事業審査につきましては7ページから8ページまでを参考に審査をお願いいたします。

それでは、平成24年度の実績報告についてですけれども、お送りした実績資料、平成24年度まちづくり活性化事業交付金の実績報告、また評価審議資料という分と、A3の一覧表、平成24年度まちづくり活性化事業交付金田平支所事業評価一覧表というのを使用します。

それでは、進めさせていただきます。お送りしました実績報告の中で、評価審議資料の平成24年度まちづくり活性化事業交付金事業評価一覧表につきまして御説明をします。実施事業が5事業、「たびら春まつり」、「たびら夏祭り花火大会」、「たびら中瀬草原クロスカントリー大会」、「田平つばき物産展」、「光フェスタ」の5事業となっております。5事業の予算総額が1,163万2千円、決算額が12,106,916円、交付額が377万7千円となっております。

それでは、審議資料により事業ごとに説明をさせていただきます。まちづくり活性化事業交付金の実績報告評価審議資料の方で説明をさせていただきます。

まず、「たびら春まつり」についてでございますけれども、1ページから10ページまでになっております。春まつりにつきましては、4月28、29日の2日間、田平支所一帯で開催をされております。24年度で35回を数えるイベントで、地域に根づいております。

田平町内特産物の販売、食の安全・安心への理解を深め、地産地消の推進が図られ、今回も約2万人になっております。実行委員会といたしましても35回目ということで、展示コーナーの配置を変えるなど、装飾に工夫がされスムーズな運営をされております。

5ページの収支決算書ですけれども、収入支出ともに4,840,785円。収入の内訳が交付金が150万円、繰越金が76,717円、牛肉販売等其他収入が3,264,068円となっております。支出の内訳は、5ページ下段のとおりになっております。課題といたしましては、ボランティアとスタッフを含めた体制づくりの検討、イベント内容の検討が上げられると考えております。

次に、11ページから18ページまでの、「たびら夏祭り花火大会」についてでございますけれども、8月17日、田平港シーサイドエリア広場をメイン会場に開催され、約13千人の来場者があっております。花火大会は田平地区の夏のイベントとして、市内外からの集客力は群を抜いており、地域振興を担う平戸市の観光振興に大きく寄与をしております。平成24年度は、平戸瀬戸市場のオープン及び荷捌き施設の完成によりメイン会場と、観覧場所との動線が確保され、田平港シーサイドエリア広場をメイン会場として、ステージイベント開催し盛り上がりました。

花火に関しましては、青果市場前から青洲会病院までと、旧アオキ石油平戸口給油所跡地裏から、長崎県漁連、活魚センター前までの港湾施設の観覧場所としました。来場者の混雑が予想されるため、警備員を増員、投光器を設置することで大きな混乱はなかったようです。

14ページの収支決算でございますけれども、収入支出ともに5,004,801円です。収入の内訳は交付金が76万円、ふれあい各種団体からの協賛金が3,832,801円、その他収入出店料が41万2千円となっております。支出の部の内訳は、14ページ下段のようになっております。

課題といたしましては、協賛金が予算の大半を占めておりますけれども、厳しい経済状況の中、地域活性化を図るためにも田平商店街の出店を推進するなど、田平町内商店街に対する協賛金の利益還元や事務局体制の見直しが図られております。

次に、19ページから28ページまで、「たびら中瀬草原クロスカントリー大会」についてでございます。今年度は第15回を数え、12月9日に開催予定で準備を進めましたけれども、前日からの豪雨によりコース状態が危険な状態になっております、加えて強風の気候変化という悪天候のため、コンディションが合わずランナーが転倒する危険性が極めて高いため、大会の中止を決定しております。

23ページの収支予算書につきましてですけれども、収入支出ともに1,382,632円となっております。収入の内訳は交付金が112万4千円、参加料は236,800円、うどん販売機の売り上げが21,832円となっております。支出の内訳は23ページ下段のとおりとなっております。

今後の課題といたしましては、今年度は参加者の安全を考えての中止はやむを得ない状況であったために、少子化等により参加者が減少傾向にあり、メディア等を使い参加者の増加を図るなどの必要があり、併せて協賛店の確保や参加料を収める参加者の増加を図り、自己収入の確保、大会時の実行委員会のあり方等の見直しが上げられると考えております。

続きまして、29ページから36ページまでの「田平つばき物産展」につきましてですけれども、やぶ椿を題材に展示販売イベントを実施することにより、自然に対する造形を深めるとともに、物産振興と交流人口増により地域の活性化を図ることを目的に、地域に定着した物産展となっております。24年度は、NHK総合の「見んと！ながさき」という番組で、前日の準備風景や開催案内が放送され、2日間で約1,300人の来場がっております。31ページの収支予算決算に関しましてですけれども、収入支出ともに164,664円となっております。

収入の内訳は交付金が14万3千円、苗木の売り上げ等による収入が21,664円となっております。支出につきまして、積立金というのがありますけれども、この積立金につきましては、入場者の方に空クジ無しのクジを実施しており、その景品購入のための積立金としております。年度末でいきますと予算関係で不足が出てきた場合があるということで、今年度から積み立てをしておきたいということで上げさせていただいております。

今後の課題といたしましては、各年度の共同の開催を行うとともに、松浦鉄道との連携を取りながら入場者の増加に努めること、出展者が高齢化なので、後継者の育成が必要であろうと考えております。

委員

前回の地域協議会で言ったことは、支所長を会長職から外せというようなことでしょう。協議会が実行委員会のことを色々言うのではなくて、その団体が実行委員会の中で役職を決めていくのではないのでしょうか。団体の集まりの中で、会長、副会長、会計、会計監査を決めていくのではないのでしょうか。地域協議会が実行委員会の中のことを色々言えるようなことではないのでしょうか。支所長どうですか。

支所長兼市民協働課長

私も、前の支所長から引き継いだ時にそういう話がありました。今年度はそういうことで、今までどおりの体制でやっていこうということで、それぞれのイベントが終わり次第、反省会とか実行委員会がございますので、その中でそういうことを、運営委員会の一人として提案して行って協議をしていきたいと考えております。よろしく願いをいたします。

会長

何か御意見がございませんか。 委員、どうぞ。

委員

たびら中瀬草原クロクントリー大会については、悪天候のため中止となっておりますので採点は、しなくていいのではないのでしょうか。

企画課協働まちづくり班長

中止となっておりますので評価できないため採点しなくていいです。

会長

たびら中瀬草原クロスカントリー大会については、大会が悪天候のため中止になっているので採点しなくていいです。ほかに質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

会長

意見がないようでございますので、採点に入りたいと思いますが、採点に入る前に説明を事務局の方からお願いをいたします。

事務局

お手元に「まちづくり活性化事業交付金要綱」、P 1 から P 6 とか書いた資料があります。この要綱に一応詳しく書いております。

今回、採点していただくのは9ページから12ページをご覧になられて下さい。9ページに、評価要領が採点の要領が記載されて、要領第4条によって評価をするようにしております。

10ページに、事業評価の基準、11ページに採点項目及び加点の内訳を、12ページに実績評価表を載せておりますので、ご覧になられて採点の方をよろしく願いをいたします。以上、説明を終わります。

会長

それでは、採点に入ります前に、たびら春まつりについては、実行委員会役員であります 委員は審査に加わることはできませんので、よろしく願いをいたします。それから「たびら夏祭り花火大会」については、実行委員会役員であります 委員、それから 委員は審査に加わることはできません。

それから「田平つばき物産展」については、実行委員会役員であります 委員は審査に加わることはできません。「光のフェスタ」については実行委員会役員であります 委員は審査に加わることはできませんので、御了承をお願いいたします。

それでは、お手元の評価表に御記入をお願いいたします。採点が終わりましたら、審査表と資料を回収させていただきます。集計につきましては時間を要しますご了承下さい。採点審査が終わり次第休憩に入りたいと思います。今ちょうど2時でございますので、2時20分ぐらいから休憩に入りたいと思います。

(採点審査終了の方から休憩を取っていく)

(休憩)

会長

それでは、審議を再開いたします。まず、審査に入る前に事務局より25年度事業審査についての説明をお願いいたします。

事務局

今年度より審査方法を改正いたしました。本年度から採点による審査を辞め事業審査のみとなっております。改正理由としましては、採点しないことによって委員の負担を軽減しています。あと、こういうやり方につきましては、生月地区、大島地区、田平地区3地区で協議をしています。

また、お手元の要領資料の7ページに第4条で詳しく記載をさせていただいています。なお、平成25年度まちづくり活性化事業交付金については、事前に今年度申請する田平地区のまちづくり活性化の各団体を集めまして、話し合いを行って、今回の申請額を決めております。協議して話し合った結果、今から説明する各団体の申請額に25年度まちづくり活性化事業交付金申請額となっておりますので、併せて申し伝えをいたします。

以上、事務局の審査説明を終わります。

会長

事務局の事業審査説明が終わりました。それでは平成25年度まちづくり活性化事業審査を行います。

先ほど事務局が説明したとおり、今年度より審査の方法が変わりました。昨年度までは、審査を採点方式でしたが、今年度より審査方法の採点方式をなくして事業審査で行います。お手元の要領しおりの7ページから8ページ要綱に基づき審査を行います。

それでは、今から5団体の説明を行います。各団体の持ち時間は15分を説明、5分を質疑・応答にいたしたいと思います。

まず「たびら春まつり」について申請団体であります「たびら春まつり実行委員会」

からの説明をお願いいたします。時間が限られている関係から、昨年度と違う点を、特に説明をお願いいたします。

たびら春まつり実行委員会

今回で36回目を迎える「たびら春まつり」ですが、今月の27日、28日の土、日に開催いたします。会場は、昨年と同様です田平支所1階福祉保健センター前の駐車場をメイン会場として行います。また、ステージの位置を今年度は、武道館側へ移動をしています。牛肉販売所も昨年、一昨年と支所裏の公用車駐車場の方で行っていましたが、わかりにくいために会場の方からちょっと離れているという御意見等もありましたので、3年前まで行っておりました武道館横に移動します。

事業の内容といたしましては、市内の特産品を主体とした郷土物産展という形になっており、特に、田平産の和牛、牛肉の販売、野菜物の苗売り、野菜等の農産物、活魚、鮮魚等の水産物、農水産加工品の販売が主な内容となっております。

また、各種イベントについてですけれども、ステージでのいろんなグループによります太鼓、ダンス、マジックショーまた魚のつかみ取りを行い、さらには今年の2日目終わりに餅まきを行ってみようと予定をしております。

また、松浦鉄道株式会社の協賛によります1日乗車1回につき200円というような感謝デーをこの春まつりの28日に合わせていただきまして、佐世保、伊万里の最寄りの駅からの来場者が見込まれるということに合わせて、たびら平戸口駅から会場までのシャトルバスも用意して予定しております。

また、3ページの予算額ですが、本年324万3千円を計上しております。これについては、牛肉の販売の部分で、牛肉の枝肉、牛の重量が近年大型化していることから、昨年まで2頭の販売をしておりましたが、今年は1頭を販売するということで計上しまして、歳入歳出の予算が前年度から98万7千円の減額となっております。

また、広告等につきましては、市のホームページによる宣伝やチラシについては佐世保地区、松浦地域の新聞折り込み、また市内、町内の皆さんには囑託員さんを通じて全戸に配布いたします。また、MRの協力も得られまして、MR鉄道の車両内に中吊りの広告も無料で掲載をさせていただいております。本年も、昨年を上回る来場者を見込んでおりますので、どうぞよろしく願いをいたします。以上で、説明を終わります。

会長

説明が終わりましたので、質疑に入りたいと思います。何か御質問はありませんか。

委員、どうぞ。

委員

私も実行委員の一人なのですが、実行委員会でちょっと発言しようかなあと思ったのですが、和牛の素人なのでわからなかったもので、今質問します。長崎県の和牛では、平戸を中心にした和牛が第10回全国和牛能力共進会で、非常に全国でも成績はトップでしたよね。そんなにいい和牛がでていのに、量ともに、昨年よりも和牛を売らないと

というのが、その理由わかりません。なんで1頭、去年は2頭販売したのに、今年は1頭にした訳があるのですか。2頭を3頭にするのなら分かるのですが、何で減らしたのかなあと、その辺の説明が何か理由があるのですかね。

たびら春まつり実行委員会

昨年もかなり大きな和牛でございまして、合わせて1,100パックくらいのパックができまして、2日間で売るのに夕方近くかかり遅くまでかかった状況でした。それで、売られた所につきましても、各町内の旅館、ホテルの関係の方にも交渉しまして買っていた経過がございました。そういったことから、今年は1頭でやってみてもいいんじゃないかということで、1頭にしたということでございます。

委員

はい、わかりました。売りきれないということですね。

会長

何かほかに御質問ありませんか。 委員、どうぞ。

委員

それは実行委員会で、1頭と決めたのですね。

たびら春まつり実行委員会

そうです。

委員

大体、昨年と一昨年は、会場の隅っこで売るから売れんやっただけで、武道館横で売るなら絶対売れると思います。

たびら春まつり実行委員会

確かに去年は、そういうわかりにくいところへ売り場を置まして、我々としましては、非常に屋根があって衛生的なところだということで、場所的にはいいのではないかとこのように考えた訳ですけれども、目立たなかったということが確かにございました。

会長

何かほかに御質問ありませんか。 委員、どうぞ。

委員

私が現職の頃は、いつも事務局に言っていました、「たびら春まつり」なので田平の特産品を主に販売してもらうため、田平の業者さんへ販売参加していただけないかということで声をかけて、お願いをするようにいつも言っておりました。

こうして見れば、地元と他所との割合がどうなっているか、ただ他所から申し込んだ人ばかりが来ていていのではないのですか。例えば田平地区の業者さんで加工品、練り物でもいいので売ってくれるようお願いはしてないのですか。今は、色々の理由があって、ちょっと出しきらんと言うのもありますが、前に来た人ばかりを中心に出店依頼をするのですか。地元の出店の比率はどのようになっていますか。

たびら春まつり実行委員会

現在、市内の出店者の数なんですが、昨年と同様で38店舗出店がございます。うち露店が10、露店の組合員の方です。市内の出店者の方が18、市外が10です。合計の38です。露店は10店舗というのは動く可能性がありますけれども、割合としては若干市内が多いです。また平戸地域の方からも入っており、新規の方です。2年程前には、2店舗、平戸市の市内の方から入りました。

以上です。

会長

他に何かございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

他にないようですので、これで「たびら春まつり実行委員会」の方を終わらせていただきます。

どうもありがとうございました。

(説明者退場)

次に、「たびら夏祭り花火大会」について申請団体であります「たびら夏祭り花火大会実行委員会」からの説明をお願いいたします。どうぞ。

(説明者入場)

会長

「たびら夏祭り花火大会」についての申請団体であります「たびら夏祭り花火大会実行委員会」からの説明をお願いいたします。時間が限られておりますので、昨年度と違う点を特に、よかったら説明をお願いいたしたいと思えます。

たびら夏祭り花火大会実行委員会

皆様方に日頃から平戸商工会の事業計画に格別なる御協力を賜りましてありがとうございます。特に、「たびら夏祭り」につきましては、町内全ての人々に御協力をいただいて、準備から後片づけまで御協力をいただきまして改めてお礼を申し上げます。

それでは、概要の説明ですが、この「たびら夏祭り花火大会」というのは、資料にも書いておりますように第34回目を迎えるものであり、私どもより皆様の方が詳しい内容は御存じかと思えますので、ポイントだけを説明させていただきます。また、内容につきましては、本年度の実行委員会を開催していませんので、具体的にこれをというようなことは、まだ決めていないので、昨年の実績をもとに作成をしましたことを御了承お願い申し上げます。

では、説明をさせていただきます。まず12ページですけれども、事業名が「たびら夏祭り花火大会」で第34回ということでございます。事業目的につきましては、県内並びに県北有数の花火大会として地域の活性化と交流人口の増大と確保振興に寄与すること、大きな目的としております。

事業内容につきましては、メインは御存知のとおり田平港で打ち上げるシーサイド花火大会、8時から9時までの約1時間でございます。その他に、花火の前にカラオケ大

会とかダンスカーニバル、権現太鼓とかそういったものを実施し、また町内の出店者や露店業者が約90店舗ぐらい出店をいたします。

次の、予算書ですけれども13ページ、昨年度は、総額皆様方の区からの御寄附とか、いろんな町内外の企業、団体等からの御奉仕、それと交付金の76万円を合わせて500万円の予算で実施をしました。そして支出の分につきましては、ほとんど例年と変わりません。宣伝費20万円、設定費95万5千円、運営費101万円、花火が全体の60%である283万5千円でやりまして、そういう予算で実施したいと考えております。

それと、若干昨年と細かい点で違ったのは、御存じのとおり瀬戸市場が完成しまして、人の流れが若干変更、それと北松魚市の下の建物が老朽化ということで、あそこを塞ぎましたので、だからそういった点で今後の課題が残ったかなあとということでございます。

それと、御存じかどうかわかりませんが、今回も花火の打ち上げに音楽を流し、バックミュージックを従来打ち上げてコマーシャルというか協賛店の名前を言ってパッと上げていた。それを、音楽を花火の種類によってバックミュージックを流したということでございます。

それと、あとは実施については、うちの事務局からいうと職員の減少とか、そういったこともあって、ややスタッフの減少が見られましたということです。簡単に言うとそういうことでございます。

以上です。

会長

説明が終わりましたけれども、何か御質問はございませんか。例年どおりで大体お分かりのようですね。 委員、どうぞ。

委員

平戸瀬戸市場の前の駐車場ですが、昨年あそこの営業時間がどうだこうだ言うて、あそこは解放できなかったということで聞いたのですが、あそこは、当初計画のときにイベント用の駐車場になって、最初の計画でイベント用の広場としてつくったのですよね。それなので、夏祭りは町の一大行事でしているのだから、使わせないとかなんか言わせないようになるため、あそこの受託業者が、営業するから使わせないと、駐車場で使用するのでと言わせないようにと。もうはっきりと言わんと、あそこは持ち主が市なので、水産関係者であれ、全部開放して有効に使うことを受託業者に言うべきですよ、私はそう思います。昨年は駐車場を使用させなかったのですよね。

たびら夏祭り花火大会実行委員会

営業時間が午後6時までということをおっしゃられて、その後、駐車場の車を全部除くという形にしたんです。

委員

当日は、車が残っていたのですか。あそこは、お祭り広場とか言って、テントを張ったりするためにアンカーを設置するよう専用につくっているはずですよ。だからそのため

につくった駐車場でないのですか。

委員

去年は、やっぱり計画の上でそれを知らなかったのですよね。あそこは瀬戸市場のものと、半分以上そのときみんなが思っていたので意見が出されなかった。そのために昨年のようにならないようにしてもらいたいです。今年は、駐車場使用の件を会議の中に入れてもらいたいです。

たびら夏祭り花火大会実行委員会

今年度は、ぜひ会議の中に入れてください。

会長

ご質問がほかに何かございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

会長

それではこれで「たびら夏祭り花火大会実行委員会」の説明を終わります。どうもありがとうございました。

(説明者退場)

会長

次に、「たびら中瀬草原クロスカントリー大会」について申請団体であります。

(説明者入場)

会長

「たびら中瀬草原クロスカントリー大会実行委員会」からの説明をお願いいたします。よろしくをお願いいたします。

たびら中瀬草原クロスカントリー大会実行委員会

ただいま紹介いただきました、よろしくお願いをいたします。

たびら中瀬草原クロスカントリー大会でございますが、平成3年より田平公園で始まりまして平成10年より中瀬草原で大会を行っております。今回で16回目になります。スポーツを通して心の触れ合いと青少年の健全な育成を目標に掲げております。市内の小中学生に対しては、体育向上等を図るために無料として行っております。

それと、説明に各市内の小中学校プラス旧北松地区、松浦地区、佐世保の一部まで足を延ばして小中学校には訪問をいたしております。去年は、海上自衛隊、それと佐世保の消防局に行きまして勧誘を行っております。

残念ながら去年は悪天候のために中止になりましたが、勧誘の効果が出てまいりまして120名増の参加者ということで申し込みをいただいております。今年も、先ほど春まつり実行委員会の方でありましたように、鉄道会社のMRさんの方にお願ひしまして協賛をお願いしたいと思っております。それで、中吊り広告あたりをできればお願いしたいと考えております。

今年に関しましては、5月に実行委員会を前倒しして行いまして、ポスター等の作成

を早めに行いまして、昨年は9月ぐらいからかかっておりましたが、前倒ししてポスター等を皆さんに周知を行っていきたいと考えております。以上です。よろしくお願いいたします。

会長

説明が終わりましたが、何か御質問はありませんか。

毎年のイベントで、余り意見がないかもしれませんが、よろしくお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

会長

何も意見がないようですので、「たびら中瀬草原クロスカントリー大会実行委員会」どうもありがとうございました。

(説明者退場)

会長

ここで休憩します。

(休憩)

会長

再開いたします。

(説明者入場)

会長

次に、「田平つばき物産展」について申請団体であります「田平つばき物産展実行委員会」からの説明お願いをいたします。

田平つばき物産展実行委員会

それでは、第40回の「田平つばき物産展」について説明いたします。

今年度の「田平つばき物産展」は、平成26年2月22日、23日に田平町民センターでの開催を予定しております。事業内容といたしましては、愛好家の方が育てた椿の鉢物、椿を題材としました幼稚園・保育園・小中学生の書いた作品、華道家の方の生け花、その他各種団体やグループの方から出展していただいたガラスアート、押し花、水彩画等の展示を予定しております。

物産展としては、町内で生産された農作物や加工品、手芸品も販売を行い、地場産品の振興に努めたいと考えております。また、会場にて接ぎ木の講習会、絵画の表彰式を行い、同時に教育委員会やつばきスタンプクラブ、田平町青年団の協賛事業を受けまして出展費に努めたいと思っております。ほかにも、松浦鉄道が行っておりますお客様感謝デーの協賛を併せていただけるようにしております。

予算につきましては、資料にありますように今年度は18万5千円を計上させていただいております。

以上です。

会長

説明が終わりましたので、質疑に入りたいと思います。何か質疑はございませんか。
委員、どうぞ。

委員

やはり場所は、町民センターを予定されているのですか。

田平つばき物産展実行委員会

はい、そうです。場所的に町民センターが屋根もある、たびら平戸口駅が近くにありまして色々一番便利がいいんです。駐車場もあることだし、そこが一番いいということで町民センターでやることにしております。

委員

私も若い方ではありませんが、ちょっと一部の人が行かれるだけで、そう魅力を感じないというのが本心でございます。平戸瀬戸市場とかでしたら、たくさんのお客様が毎日お買い物に来られるので、あそこら辺でできないものかどうかちょっと思いましたが、もう40回という歴史を考えると、そう簡単に変えられないのかなあとは思いますが、

田平つばき物産展実行委員会

これは、「田平のつばき物産展」という形になっておりますものですから、椿の愛好家の皆さんの出品と、それからいろんな小学生からいろいろな関係者のことで、やはり場所としては町民センターがMR駅に近いということもございまして、ここがいいんじゃないかということで実施をしております。

会長

なかなか固定観念が最後まで残っていますけど。他に何かございませんか。委員、どうぞ。

委員

去年の来場者は何人ですか。

田平つばき物産展実行委員会

24年度に行った来場者数ですが、市外の方が363名、市内の方が913名、合計1,276名です。これは受付を通した数ですので、受付を通過していない方がおられたらもう少し増えるということになります。

会長

いかがですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

会長

質疑がないようですから、「田平つばき物産展実行委員会」をこれで説明を終わりたいと思います。

どうもありがとうございました。

(説明者退場)

会長

次に「光のフェスタ」について申請団体であります「光のフェスタ実行委員会」からの説明をお願いいたします。

(説明者入場)

光のフェスタ実行委員会

去年から実行委員会ということで活動をしているんですけども、今年2013年で第7回目を迎えることとなります。この前回の反省会をもとに、ちょっと予算上はほとんど去年と変わっていないんですけども、なるべく削れるところを削ってイルミネーションの購入に充てたり、PRとか、あとステージレイアウトの方をちょっと募集型にして、地域にもうちょっと密着できる形にしていきたいと考えております。

それと、オープニングに関しては、集客をもう少ししようということで、12月の第2土曜日にしていこうということで、前回の実行委員会の反省会の方で決まりました。花火の方は好評でありましたので、花火の方の点灯式の際には継続して行っていきたいと思っています。

以上です。

会長

説明が終わりましたけれども、何か皆さん方から、御質問はございませんか。 委員、どうぞ。

委員

毎年お疲れさまですけれども、応援はさせていただいているんですけども、場所がわかりにくいという声を聞いているんですけど。去年も平戸の南部の方とか、江迎、佐々の方が来られて、一応田平公園まで行ったけど、どこでやっているのかがわからなかったそうなんです。その辺を踏まえて、今年は、もうちょっと場所がわかりやすくして何か工夫をされたら、もっと来場者が増えるんじゃないかと思えますけども、いかがでしょうか。

光のフェスタ実行委員会

その点に関しましては、第3回目のときから会場の方が、展望台の方に変えて、やっぱり会場がわかりにくいということでした。その為にその前までは、会場の手前の駐車場の所でしたんですけども、やはりメイン会場が奥にあるもので、そこを使いたいということでした。しかしずっとテーマに、入口までをどうやって誘導するかということテーマとして置いてはいたんですけども、今年は、めぐりあい協議会さんと協力をして、テニスコート横の所をラプロードということで通路にしました。そこに案内板を奥の方にあるということで、いつもあそこに掲示板をしているんですけど、なかなか見られないということであったので、入口の所に、今回イルミネーションをした所、まあ、前から何点かは、そういった問い合わせもあったもので、もうちょっと誘導等を考えていきたいとは思っています。

今回から実行委員会という形でいろんな意見を取り込めるようになりましたので、そ

こら辺ももうちょっと意見をいただいて、スムーズに奥の方まで誘導できるような形をとっていきたいと思っております。

会長

何か皆さん方から御質問はございませんか。

光のフェスタ実行委員会

すみませんが、補足で説明をさせていただきます。ちょっと資料の方には書いていないんですけども、毎年、保育園の方に依頼をして「サンタさんにプレゼントの願いごと」ということで飾っているんです。でも今までちょっと田平の保育園、幼稚園の方をお願いをしていたんですけども、やっぱり私たちの目標としているのが平戸市全体に広がっていかなければならないというところがありましたので、平戸の北部の方の保育園や幼稚園に、今年から依頼をしてみても御協力いただけるのであれば、そういったところから始めていきたいとは考えています。

今はちょっと田平だけということでイメージが強いので、平戸の北部だけじゃなくして、できれば中部、南部、生月といったところで協力できる場所があれば協力して、幅広い活動にしていければと考えています。

以上です。

会長

委員の皆さん方から何か質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

会長

質疑が無いようでしたら、これで終わりたいと思います。

どうもありがとうございました。

（説明者退場）

会長

これで平成25年度まちづくり活性化事業交付金事業についての説明が終わりました。

それでは、平成25年度まちづくり活性化事業交付金の5事業についての採決に入りたいと思います。まず、申請団体であります「たびら春まつり実行委員会」の「たびら春まつり」について、皆さんへお諮りをします。「たびら春まつり」は申請どおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

会長

異議なしということでございますので「たびら春まつり」については、申請どおり決定いたしました。

続きまして申請団体であります「たびら夏祭り花火大会実行委員会」の「たびら夏祭り花火大会」について、皆さんへお諮りをいたします。「たびら夏祭り花火大会」については、申請どおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

会長

異議なしということでございますので「たびら夏祭り花火大会」については、申請どおり決定をいたします。

続いて申請団体であります「たびら中瀬草原クロスカントリー大会実行委員会」の「たびら中瀬草原クロスカントリー大会」について、皆さんへお諮りをいたします。「たびら中瀬草原クロスカントリー大会」については、申請どおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

会長

異議なしということでございますので「たびら中瀬草原クロスカントリー大会」については、申請どおり決定を行います。

続いて申請団体であります「田平つばき物産展実行委員会」の「田平つばき物産展」について、皆さんへお諮りをいたします。「田平つばき物産展」については、申請どおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

会長

異議なしということでございますので「田平つばき物産展」については、申請どおり決定いたしました。

続いて申請団体であります「光のフェスタ実行委員会」の「光のフェスタ」について、皆さんへお諮りをいたします。「光のフェスタ」については、申請どおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

会長

異議なしということでございますので「光のフェスタ」については、申請どおり決定をいたしました。

それでは、平成25年度まちづくり活性化事業交付金の5事業については、全て申請どおり決定いたしました。平成25年度まちづくり活性化事業交付金事業審査については、全ての事業で採択し、その結果を市長へ報告をし、審査結果を申請団体へ通知いたします。さらに、採択された団体名、事業内容及び交付金額を公表いたします。

それでは、ここで御審議いただきました平成24年度まちづくり活性化事業交付金につきまして、集計が終わりましたので事務局から事業評価結果の報告をお願いいたします。
事務局

それでは、今お配りしましたデータの平成24年度まちづくり活性化事業交付金事業評価採点表に基づきまして御説明をいたします。

「たびら春まつり」について10名の委員さんの総合計が889点、平均点が89点となって

おります。コメントといたしまして、他市の業者等が多く、田平の業者が少ない、若い世代を引きつける「たびら春まつり」を期待します。地域住民のために努力をしてという意見がございました。

続きまして、「たびら夏祭り花火大会」につきましてですが、8名の審査の総合計が743点、平均点で93点です。コメントといたしまして、夏の行事としては、いいことだと思います。規模の拡大が今後進める課題ではないかという意見がございました。

「田平のつばき物産展」についてでございますけれども、10名の委員さんの総合計が882点、平均点が88点です。コメントといたしましては、今後、若い世代が引き継いでくれるかどうか課題、会場で会う人たちが毎年同じ顔ぶれが多い。平戸の人も来てほしい、事業の規模が小さい、他のイベントとの連携はという意見がございました。

続きまして、「光のフェスタ」ですけれども、10名の委員さんの総合計が857点、平均点が86点となっております。意見といたしまして、これからも美しくいろいろと引き続けてくださいという意見がございました。

以上です。

会長

ただいま事務局から報告がありました。平成24年度まちづくり活性化事業交付金実績評価結果についてはその結果を市長に報告をし、事業評価の結果を申請団体に通知いたします。各委員からのコメントは、事務局で取りまとめ地域協議会の意見として通知させていただきます。さらに事業名、事業内容、団体名、交付金額、評価結果等を公表いたします。

それでは、審議事項(2)に移りたいと思います。前回の協議会で再度、支所有効活用の市への要望書を提出するという件で要望についての審議を行いました。一応、たたき台として要望書(案)をつくっていますが、この要望書(案)で削除したり追加したりするところがありましたら、皆さん方でご意見又は御協議をお願いいたします。

それから5月末に第2回の協議会を予定いたしておりますが、その時までには要望書を提出するか、もしくは要望書(案)を最初からつくりなおしたりするか、たたき台をつくり直して、再度出し直すかです。今日は、その結果について5月に提出するか、そのまま提出するかということ、ひとつ御審議をお願いしたいと思います。

一応、(案)としてたたき台については、つくってみましたが、そのほか追加とか、意見等があれば、またお願いしたいと思います。 委員、どうぞ。

委員

これをすぐ提出ですか。それとも26年の新メンバーになってから提出ですか。

会長

もう、これでいいと皆さんが言われれば、すぐ提出したいと思います。さっきも言いましたように、5月末ごろ地域協議会がある予定になっていますので、もうちょっと考えた方がいいんじゃないかということであれば、次の協議会にもう一度練り直して

から、5月以降に提出してもいいんじゃないかというふうに、今のところは考えていません。

委員

ほかにも、課題解決をしていただきたいと要望をしますけれども、早急に課題解決されるようとか思うとか、強い言葉で書くわけにいかないのですか。そうしないとやっぱり考えるとあんまり優しいお願いでごとである。要望書なので、有効活用されるよう強く要望しますなどどうですか。しかしまだゆっくりでよかと、俺はそう思うんですが、どうですか。

会長

意見がでましたが、皆さんもう少し考え直しますか。

委員

それなら最終要望してから回答してもらった。しかし余りにも時間がたったということ、ちょっと一筆入れておいたほうがよくないですか。この前、平成何年だったですか、一番最初に出したのは。

会長

最初に要望書を提出したのは、平成22年6月だったと思います。委員、どうぞ。

委員

平成22年6月が最初だから、見直しをされている。だから、もう既に2年半になっているわけですから、それから返事をもって、だから3年間も考えてあるわけですから、まだまだ考えんといかんというような文面の返事をいただいているわけですから、もう少し具体的に、時期的にもうそろそろ決断してくださいみたいな、あれを入れた方がよくないですかね。余りにも延ばし、延ばしになってしまいよるわけですから。

会長

私も知恵が回らないので言いますが、1回要望書を出して、こうなったので再度要望書しました。またお願いした文書の回答が、去年の10月に返ってきました。今年の市長選挙が10月にありますよね。市長選挙前に出した方がよかろうということで、一応お願いはしようと思いますので、今要望書(案)を出しているわけです。

まあ、考え方は2通りあるのですが、無理して回答を出してくださいと、又は回答を無理して言って悪い回答あったらどうかなと思いますし、いろいろ諸般の事情でだめですよという回答が来たら、またどうにもならないこともあるし、あまり今言わないほうがいいという考え方があるので、今ちょっとそここのところはどうした方がいいかなという考え方であるのが事実です。

各委員さんが、いや、構わないので、要望書をすぐ提出した方がいいということになれば、そういうふうにしたいと思います。委員、どうぞ。

委員

一か八か結論を求めたら、どうですか。

会長

決を求めますが、また時期がたっているので、再度要望いたしますので、要望を出した方がいいのではないのでしょうか。 委員、どうぞ。

委員

なぜ今まで結論を延ばして要望書の回答しないのかというところで、かなりそこに問題があるから、今、会長さんが言ったようなことが考えられんこともなかたいね。

会長

早く結論を出すことだったら、引き延ばし、引き延ばしされなかったのではという、臆測も移るもんですから。

委員

協議会の中では、少しでも回答してもらいたいと思うんですけどね。回答しないことには、やっぱり何か問題があるんじゃないかと思うんですけどね。問題を言うてくれないうとわからんけど。俺たちの耳に入ってくるのは、向こうの雑音だからね、わからんたいね、それは。何でやっているのか、やっていないかは。そのスタートがやっぱり合併のときのいろいろなあれがあるんやろうから。

会長

要望書は一度出しているのに、また再度、要望しますというものが、これは一応、有効活用に関する意見についてということで一応合わせてあるんですけども、あくまでも田平地区としては、再度要望をしますということで、要望書として出した方がいいのではないのでしょうか。

会長

もしくはもうちょっと日にちを考えて、訂正して出しましょうか。もう少し意見として、再度意見を求めて、これをそのまま出してよかとなれば、そのまま出されることになるばってん、5月に協議会が予定をされているということですから、それまでに、また(案)をもう一度作り直して、もうちょっと強い言葉で要望したいもんですかね。

委員、どうぞ。

委員

前の回答書はコピーしてみんなに配ったのですかね。

会長

前回の分は配布しました。前回の回答をもう一度コピーして配布しましょうか。その回答書に課題があるのでちょっと待ってとか書いてあったんですけどね。一応、考えているけれども時間を下さいと書いてある。

委員

時間をいただきたいと書いてあるんですね。

事務局

先に教育委員会が他の支所に移った場合、課題も存在する。何の課題なのか、その課

題解決に向け協議を詰めてまいりますので時間をいただきたいと、考えておりますというような内容でした。

会長

その時間がいつまでかかるか。回答に対する意見は、今出している皆さん方が、あくまでももう教育委員会を持ってきてくださいということで要望が言うておったのに、活用してくださいと書いてあるんですね。外のものをどうしてくださいますよ、これは。そのところが私も分からんけど。 委員、どうぞ。

委員

委員は、合併のときからの下地を少し知っておるので、教育委員会が、例えば生月とか大島とかが、平戸地域のほかも含めて要求したことがあったんですかね。ここを見てください、平戸がもたんばいなど、そういうことがあったのですか。生月とか大島とかあんまり聞いたことないけど。何で田平に持って来ないのかなあっていうその辺が、俺たちわからんもんね。支所が空いているのは事実じゃけん。

会長

この支所の有効活用に関しては、一応（案）がお示しされているわけですが、早急にはやはり、もう一回出す必要があるだろうということで、要望書（案）をもう少し変更して作り直して、再度各委員の皆さん方にお謀りして、平戸市長の方に提出するようにしてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

会長

異議なしということでしたので、次回にお謀りをいたします。

次に、審議事項（3）その他でございますが、皆様方から何かございませんか。

委員、どうぞ。

委員

ちょっと当てはまるか、当てはまらんかわからんですけど、ちょっと御意見を申し上げたい。

資料には載っていませんが、市道鎌倉山線の整備はどのようになっていますか。

産業建設課長

市道鎌倉山線につきましては、田平町時代から要望があったのは私も存じ上げております。

これは、現在道路計画の中に入っているかどうかというのを私は確認してきておりませんけれども、必要な箇所については10年計画になっていました。この辺を今から確認をさせていただきませんか。

委員

今、確認をしている間に別の質問をしたいんですけど、なぜかと言うと、人口の面も

出てくると思うんですけど、最近、平戸市が4月に入って人口の発表していますので、ネットや広報誌の中で見られたんじゃないかと思います。ものすごく人口が減ったというのは皆さん御存知ですよ。平成17年の10月1日と今年の4月1日を比較対象したときに、数字を申し上げますと旧平戸市が平成17年10月1日で2万3,161人、今年の4月1日で2万222人、旧大島村が平成17年10月1日1,610人、今年の4月1日1,237人、マイナス373人、旧生月町平成17年10月1日7,479人、平成25年4月1日6,223人、1,256人マイナス、旧田平町平成17年10月1日7,680人、平成25年4月1日7,140人、540人マイナス、平成17年10月1日総計の3万9,930人、平成25年4月1日3万4,822人、5,180人のマイナス。こういった数字が出てきて世帯数については、平戸市が142世帯マイナス、大島村が83世帯マイナス、生月町が73世帯マイナス、田平町が逆にプラス120世帯数、こういった数字が出てきているわけで、何を申し上げるかと思しますと、安田委員がここにいらっしゃるけど、現職のときに、市道鎌倉山線の道路が狭くなって、永田区から山内区にまたがっているんですけど、車の離合などとても危なかったものですから、当時の支所長をお願いしたら、すぐ道路に溝蓋をかぶせていただいたんですよ。もうすぐ側溝をかぶせていただきました。すばらしい支所長さんですなあと思いながら対応をしたんですけど、その後その地域に30世帯増えているんですよ。借家とか賃貸住宅ができて、ものすごく車の往来が激しいんですよ。こうなってくれば事故が起こらないと対策をとらないといかんと思ひよるけども、独自で山内区長さんをお願いして、独自で道路の拡幅工事をという意見も出てきたんですけど、まあ、とてもじゃないですよ。地域住民をまきこんでいるものですから。

だから、ここは何とか世帯数が増えてきているのに、私は、子供がここで遊ぶような広場をどうにか今年は確保して遊ばせています。しかし世帯も増えているので何とか道路工事をやっていただきたい。そういう目的があって、きょう提言したわけですよ。人口減についてものすごく興味があって、私たちも何年も前から見ているんですけど、これは平戸市だけではないけど、どこも一緒じゃないかなと思うんですけど、そこも含めながらですね、人口減対策として、やっぱり少子化対策というものもやるし、行政官民だけじゃなくて、どうすればいいかということで、大きな課題が起こるのはあるんじゃないかなと思うかと思ひながらお話をしています。まあ幸いにして、田平がリーダーじゃないかと思うんですけど、平戸市全体を考えなきゃいけない時代じゃなからうと思ってですね。田平地区だけでは微力なんですね。逆にいえば、田平町の世帯が増えている状況なんですけど、そんな問題じゃなくて、やっぱり平戸市全体で、官民一体となって、人口流入の定住型の何かを求めるとあるんじゃないかというふうに思います。

以上です。

産業建設課長

今、建設課に確認してきましたけど、今の10年計画には、今のところ入っておりません。だから、田平町時代の要望書を総合計画として、そういうふうに対処したかという

ことです。実際、今度の振興計画につきましては、やっぱり、もっと地元からの要望という形で、今の関係者も変わっているかと思しますので、そういったような形の文書で要望してもらった方が、振興計画としてはあげやすいというような話を伺いました。

委員

要望ですね。

産業建設課長

平戸市内の道路計画というものは、大体そのようなことですね。まあそういったことですね。早く完成するには、やっぱりそういったことが一番早道だとは思うんですけどね。

会長

委員、どうぞ。

委員

開発行為は行われませんか。急激にそうした現状、兼ねてきているので、そこは地元の要望も大変なばってん、役所の方もそれなりのさ、事業名であげてそうしないと、応援してくれるお願いをする必要があるのではないのですか。そうしないといつまでもたってもならない。俺は、他課へ要望するときには、今度こそ絶対田平地区に要望を上げてよと言ってきたけど、しかしいっちょんあげていないと聞いたので。それはあくまでも役所が要望してやらないと、逆に加勢して地元地元とは言っても、いつまでもならないと。あとあそこは家がいっぱい建っているとけど、国の売り地になっているよね。今からどんどん家が建ってくるはず。昔からあそこは、狭かったので、そこら辺を行政が加勢してあげてやらんとだめですよ。

産業建設課長

どうも、合併前までは、田平町時代に計画しとったですもんね。ところが合併と同時に消えてしまっていた形になっているんじゃないかというようなことでした。だから再度、そういうふうにならないように、地元の要望がいるということです。

委員

まあ、わかりました。

産業建設課長

その件については、計画的に上げていきますから、現在、時期的に10年は住宅優先の再開計画に上げることは、今のところ事務的な要望になっていますが、あとは、やっぱりそういった形で地元からの要望とかで、早めに着手できるような状況になろうかと思えますね。

委員

わかりました。

会長

その他について何か他にございませんか。無いようでしたら最後に事務局より報告が

あります。

事務局

今日ここで、協議会の中で御報告をさせていただきます。

協議会の委員の方に、長崎県感染症協議会条例に基づく県保健所の感染症審査協会の議会及び結核審査の専門部会委員の承認の依頼がっております。

なお3月12日までに提出する必要がありましたので、3月8日に承諾書を送付していますので、一応協議会で御報告いたします。

任期が25年4月から27年の3月31日までとなっております。

会長

何か他にございませんか。無いようでしたら、次回の協議会開催について事務局からお願いいたします。

事務局

次回協議会の開催にですが、5月下旬に開催を予定しております。開催に当たりましては、事前に御案内文を差し上げ、審議事項に係る資料を送付させていただきます。今回は、やらんば市民活動サポート事業審査が、主な審議事項となります。よろしく願いいたします。

会長

それでは、これもちまして、平成25年度第1回田平町地域協議会を閉会いたします。

午後4時25分閉会

10. 会議録の公開

公開する

11. 会議資料の名称

平成25年度第1回田平町地域協議会次第レジュメ

平戸市まちづくり活性化事業交付金事業交付金要領、審査要領、評価要領

平成24年度平戸市まちづくり活性化事業交付金（田平地区）事業評価一覧表

平成24年度平戸市まちづくり活性化事業交付金の実績報告に係る評価審議資料

平成25年度平戸市まちづくり活性化事業交付金（田平地区）事業審査一覧表

平成25年度平戸市まちづくり活性化事業交付金の申請に係る審議資料

12. 会議録の作成者の職氏名

平戸市役所田平支所市民協働課

班長 今村 達也

平成 25 年 4 月 10 日

会議録署名委員

萩尾 章

青木 繁